

朝鮮半島は世界のホットスポットとして、東北アジアのみならず、世界の安全と平和にとって重大な関心を集めてきました。その中で、日韓関係もかつての敵対を越えて、持続的に緊密さを増していますが、他方で、深刻な課題も露呈しています。しかし、日韓関係の緊密な発展が双方にとって不可欠であり、世界でもっともダイナミックな発展を遂げている東北アジア地域の協力・共同という未来の展望の中で、日韓関係は一段とその重要性を増しています。

本学では法学部教授を中心として、1998年以降、科学研究費補助金を受け、「現代韓国の民主化と法・政治構造の法社会学的研究」など、韓国の気鋭の研究者たちとの大型の共同研究を数年にわたり進める一方、「北東アジア専門家会議」を立ちあげ、現代韓国研究を東北アジア地域との関連の中で行ってまいりました。そこで2005年6月、現代韓国・朝鮮半島研究および日韓関係研究の重要性、そして、その緊急性を認識し、総合的な現代コリア学術研究センター、朝鮮・韓国関係の教育交流センター、朝鮮半島理解のための地域社会に開かれたセンターとして、「立命館大学コリア研究センター」を設立するにいたしました。

基本性格

- 現代韓国の法・政治、経済、社会、文化の総合研究センター
- 次世代研究者の養成に主眼点をおく日韓学術・教育交流の基本拠点
- 現代韓国研究の日本および東北アジアでのアカデミック・ネットワークの拠点
- 日本における韓国研究関係資料と情報の蓄積センター
- 日本における韓国教育・韓国文化理解の支援拠点
- 現代韓国理解を広げる地域社会に開かれたセンター

1) プロジェクト研究事業

- ① 「21世紀東北アジア時代構想」研究
- ② 現代韓国の法と政治研究
- ③ 現代韓国のメディアと文化研究
- ④ 日韓歴史認識・日韓関係系研究
- ⑤ 在外コリアン研究
- ⑥ R-GIRO研究プログラム

3) 国際研究事業

- ① 国際シンポジウム・日韓共同研究会の実施
- ② 研究交流協定機関との共同研究・共同事業の実施
- ③ 定例研究会の開催
- ④ 韓国学関連の受託研究

2) アカデミック・ネットワーク推進事業

- ① 国際研究ネットワークの維持・強化・拡大
- ② 交換研究者制度、海外研究者招請の実施
- ③ 日本における韓国研究関係資料と情報の提供

4) 若手研究者育成事業

- ① 韓国関連の若手研究者の国際フォーラム開催
- ② 京都韓国学研究機関によるコンソーシアム事業

センターとしての実績

シンポジウム

- 2006年 2月 「東アジアに発信され拡散する韓国文化力の可能性」
- 2006年 12月 「朝鮮半島の平和と東北アジアの安全保障—多面的構想」
- 2007年 4月 「世界経済の変化と転換期の韓国経済」
- 2008年 5月 「朝鮮半島の和解・協力10年—評価と展望」
- 2008年 11月 「浮遊する在日コリアン—同化と差別のなかで」
- 2010年 5月 「東北アジアの安全保障と信頼醸成」
- 2010年 7月 「新国際協調主義時代における東アジアと朝鮮半島」
- 2011年 1月 「言葉のなかの日韓関係」
- 2011年 6月 「北朝鮮は崩壊するのか—韓国政府の対北政策を検証する」
- 2011年 7月 「植民地期における朝鮮人の生と死」

センター長

勝村 誠 (政策科学部・教授)

主な研究拠点

立命館大学 (衣笠キャンパス) コリア研究センター

お問合せ先

立命館大学 コリア研究センター

TEL : 075-466-3264 FAX : 075-466-3247 E-mail : korea@st.ritsumeik.ac.jp
URL : <http://www.ricks2005.com/index.html>